

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-260026 (P2003-260026A)
 【公開日】平成 15 年 9 月 16 日 (2003.9.16)
 【出願番号】特願 2002-64022 (P2002-64022)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 1/00
 A 6 1 B 19/00
 A 6 1 J 3/07
 A 6 1 M 25/01

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B
 A 6 1 B 19/00 5 0 2
 A 6 1 J 3/07 A
 A 6 1 M 25/00 3 0 9 B
 A 6 1 M 25/00 4 5 0 B
 A 6 1 M 25/00 4 5 0 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体内に挿入されて検査、治療又は処置などの医療行為を行う挿入部を磁氣的に誘導する医療用磁気誘導装置において、

前記挿入部の少なくとも一部に設けた磁石と、

前記磁石に作用する磁界を発生させる複数の電磁石を有する磁界発生手段と、

前記被検体を前記磁界発生手段の中に収納する患者収納領域と、

を備え、

前記磁界発生手段は、分割又は開閉の機構を有することを特徴とする医療用磁気誘導装置。

【請求項 2】

前記挿入部はカプセル型医療機器であり、

前記磁界発生手段は前記カプセル型医療機器に設けた磁石に作用して体腔内での進行方向を誘導すると共に、前記カプセル型医療機器を体腔内中で移動させるための動力発生手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 3】

前記挿入部は内視鏡、カテーテル、ガイドワイヤなどの管状部材であり、

前記磁界発生手段は前記管状部材に設けた磁石に作用して体腔内での挿入方向を磁氣的に誘導することを特徴とする請求項 1 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 4】

前記磁界発生手段は、略キュービク状であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 5】

前記略キュービック状の磁界発生手段は、患者収納領域を有することを特徴とする請求項 4 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 6】

前記磁界発生手段は、患者収納領域を有することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 7】

前記磁界発生手段は、箱型容器状であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 8】

前記磁界発生手段は、前記電磁石を容器に内蔵することを特徴とする請求項 7 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 9】

前記磁界発生手段は、容器内に便器状の椅子を設けたことを特徴とする請求項 7 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 10】

前記複数の電磁石のうち、1 つが便座形状であることを特徴とする請求項 7 に記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 11】

前記磁界発生手段は、椅子型の台と一体化していることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 12】

前記磁界発生手段は、回転磁界を発生させる回転磁界発生手段であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【請求項 13】

前記磁界発生手段は、患者ベッドに取り付けられていることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の医療用磁気誘導装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の医療用磁気誘導装置は、被検体内に挿入されて検査、治療又は処置などの医療行為を行う挿入部を磁氣的に誘導する医療用磁気誘導装置において、前記挿入部の少なくとも一部に設けた磁石と、前記磁石に作用する磁界を発生させる複数の電磁石を有する磁界発生手段と、前記被検体を前記磁界発生手段の中に収納する患者収納領域と、を備え、前記磁界発生手段は、分割又は開閉の機構を有することを特徴とする。